

# 絆

赤井むつみ後援会便り第13号

2012年 1月 発行

笑顔あふれる温かい町に！



## 今年もよろしくお願ひします！

昨年も大変お世話になりました。昨年は信じられないほど悲しく辛い出来事が多くありましたが、皆さまにとってはどのような1年だったでしょうか。

議会においては、年4回の定例会と、臨時会、特別委員会など、話し合うことも多かったのですが、その内容を皆さまにしっかりとお伝えできているのか、そして、それに対して皆さまの声をしっかりと受け止めているのかと考えた時、まだまだ力不足・努力不足で申し訳なく思っております。

今年は反省ばかりで終わるのではなく、しっかりと義務を果たす努力をしますので、今年もご指導・ご助言をどうぞよろしくお願ひ致します！

### 議会改革が始まります！

昨年6月から、一般質問の形が少し変わりました。今までの質問回数3回という制限がなくなり、内容充実のため反問権（逆質問）も設けられました。

6月・9月に試験導入した結果、大きな問題もなかったため、今後もこのまま続けられます。また、定例会の日程と一般質問の順番が決まり次第、主な施設にその内容を掲示していますので、是非、一度、傍聴にいらしてくださいね！

更に12月に「議会改革調査特別委員会」が設置され（議長を除く全議員）、議会機能の強化と活性化を目指すことになりました。今後は、町民報告会や出前公聴会など行い、広く皆さまの声に耳を傾けると共に、議会の内容もしっかりとお伝えできると思っています。

その時は、どんな小さなことでも結構ですから、積極的に声を上げ、まちづくりについて一緒に考えていきましょう。どうぞよろしくお願ひ致します！

## 心も体も元気にすごしましょう！

## 第4回定例会（12月）の一般質問

### 『八雲町の文化財の適切な保存と博物館活動の充実を』

- (1) このたびの大震災で、大きな被害を受けた自治体では、全国の学芸員の協力を得て、町の文化財や歴史的資料の復元・保存にむけて取り組んでいますが、とても難しいと聞きました。

八雲町にも長い歴史の中で生まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財がたくさんありますが、災害を想定して、どのような状態で保存しているのでしょうか？

- (2) 郷土資料館や歴史記念館は、文化財保存と展示をする施設だけではなく、資料を活用しての教育的機能や、観光資源としての役割もあると思いますが、今後、その活動をどのように充実させていく予定でしょうか？

#### 教育長

- (1) 八雲町には民間所有も含めて、国指定文化財1件、道指定文化財4件、町指定文化財23件のほか、郷土資料館、熊石歴史記念館、埋蔵文化財収蔵庫（浜松小学校旧体育館）に、それぞれ貴重な自然や歴史資料が保管・展示され、災害の備えとして、町が所有している国、道の指定文化財や貴重な郷土資料の一部を、4台の大型耐火金庫に保管しています。

また、地震に備え、資料の落下防止も行っていますが、建物そのものが大きな損害を受けるような災害が起きた場合、貴重な歴史的資料等を守ることは現状では難しいと考えています。そのため平成15年頃から、歴史的資料等の写真撮影をし、記録の保存に取り組んでいます。民間所有の歴史的資料についても、今年から取り組みを始め、門昌庵が所持している古文書資料を撮影し、整理を行っているところです。今後も文化財については、適切な保存を心がけていきたいと考えています。

- (2) 現在、郷土資料館や熊石歴史記念館では、各小中学校の郷土学習の支援を行っています。郷土資料館では、落部や熊石地域などで行う文化祭への資料の貸し出しや展示協力、民間団体が実施する各種事業への協力や資料提供を行っているほか、文化財少年教室や縄文体験学習、古文書講座などの各種学習会を実施しています。

今後は、小中学校での学習のための資料の貸し出し、移動展示などの活動を行うとともに、資料館がこれまで収集し、収蔵している自然や歴史、郷土に関する図書や文書、実物郷土資料の記録データ閲覧が出来るよう資料活用の方法を検討し、見学だけではなく町民や町外研究者が資料活用できるよう閲覧場所の提供を行っていきたいと考えています。また、木彫り熊やバター

あめ、酪農など、他の町村では見られない八雲町特有の歴史についても、資料調査を更に推し進め、展示の充実を図り、町外からの見学者の呼び込みにもつなげたいと考えています。

熊石歴史記念館は、観光エリアに整備され観光資源として重要な役割を担っています。今後も郷土資料館・熊石歴史記念館が地域の自然、歴史の情報発信地としての機能を果たすことが出来るよう努めます。

#### 《再質問でわかったこと》

- ・ 新しく出来る収蔵庫は、職員の案内のもと、誰でも自由に見学できます。
- ・ 資料館に展示されているものは、出来るだけさわって、資料の質感などを体験できるように工夫されています。

#### 『情報提供の拡充と関係機関などの連絡調整の充実を』

- (1) 毎年、各課が担当して、色々な研修会や学習会が熱心に展開されていますが、時々もったいないと感じます。こんな良い講師をお招きしたのだから、もっと多くの方に参加してほしい。そのためには各課単独ではなく、テーマによっては合同で開催することで、参加者が増え、質的にも向上できると思います。また、すでに一部では行われていますが、企画段階から関係団体と講師選定の協議を行う事も是非、取り入れていただきたいです。
- (2) 八雲町では各課の出前講座をはじめ、町内にも専門知識を持っている方も多く、講師として活躍できる方もいらっしゃいます。しかし残念なことに、そのことがあまり知られていないので、団体によっては講師を探すのに苦労しているという声もあります。そこで八雲町のホームページで、各課が行った講演会や出前講座はもちろん、関係機関などが実施したのも内容収集し、町内外の講師も含めてジャンル別に公開し、こんなテーマで話を聞きたい、こんな事業の講師を求めているという声に応えられるシステムの構築は出来ませんか？
- (3) 町民の方が役場以外の官公庁等に講演依頼をしたとき、どういう団体なのか分からないため、交渉がスムーズに進まないという声もあります。協働のまちづくりを推進する面で、町として橋渡しなどの支援を積極的に行う体制を作ってほしいと思いますが、いかがでしょうか？

#### 町長

- (1) 町が講演会を開催する際、複数の部局が合同で開催することで、運営面など様々な効果が発揮されると思います。各種団体が開催する講演会については、団体の自主性のもとで開催することが第一義ですが、講師の選定や講演会の企画・運営に関する情報提供など、町として支援できることも多々ありますので、当該団体とかかわりの深い部局へ積極的に申し出ていただき、コ

コミュニケーションを深めていきたいと考えています。

PRについても町ホームページを積極的に活用していただき、職員の積極的な参加についても引き続き呼びかけていくと共に、職員の資質等にきわめて強く関連するものは、職員研修に位置づけるなどの配慮をしていきます。

- (2) 過去に町や関係団体が開催した講演会の内容、講師の方をリストアップし、ホームページに掲載することについては、内部の情報収集、整理及び公表について具体化していきます。
- (3) 講師にお願いしたい方が他の官公庁の方の場合、自治体の横のつながりを生かし、最初の橋渡しのお手伝いができるので、積極的にお申し出下さい。



### 共生型サロン「八雲シンフォニー」が12月19日にオープンしました！

軽食喫茶もありますが、誰もが自由に利用できる施設ですので、注文なしでも、気軽にお友達とおしゃべりの場として、ご利用できます。また、キッズルームもあり、全館土足厳禁、蓄熱暖房ですので、小さなお子さんのハイハイも安心です。みんなで情報交換し、楽しい場となるといいですね！

1月16日（月）午後6時より、はぴあ八雲で「知っておきたい子どもの感染症の知識」と題して、札幌医大・小児科の堤教授の講演があります。入場無料、託児室もありますので、是非、ご家族そろってご参加下さい！

1月25日（水）10時～14時 公民館にて「酵素玄米」の炊き方と試食会が開かれます。参加費は実費（200円位）。玄米の力を使って、自然治癒力を高めよう！という取り組みです。是非、みんなで食べて心も体も元気になりましょう！（研修会&試食会ですので、販売はしておりません）



22年度の町の決算では、収入の方が多く、財政は健全のように見えますが、人口減に伴い、今後、町税も地方交付税（国からのお金）も減っていきます。

このままで行くと、平成28年には第2の夕張になるおそれがあるため、今、町としては行財政改革に全力で取り組んでいます。でも、何でもカットするだけではなく、心豊かに過ごせるための工夫も必要だと思います。そのためにはみなさんの知恵と協力が必要ですので、是非、一緒に考えていきましょう！

赤井むつみ後援会 八雲町住初町 126 FAX=62-3632 携帯 080-5588-2090  
メールアドレス [yuurappu@khaki.plala.or.jp](mailto:yuurappu@khaki.plala.or.jp) 赤井自宅=栄町 56-12